

令和元年度 第2回福祉センター運営委員会会議録要旨

1. 日時 令和元年11月7日 午後4時00分から午後5時30分
2. 場所 福祉センター やまなみ荘
3. 出席者 委員：山崎智吉、望月典子、市川寿明、平田勝章、大田 譲、
種子光江、平田正夫、曾根原ふさ子、瀧澤早苗、藤原久紀
村 長：藤澤泰彦
事務局：松沢昌志（所長）、小坂部 元（支配人）、牛越 実（料理長）

4. 協議事項

（1）令和元年度の運営状況について

説明事項

令和元年度の運営状況（取組内容、会計状況、利用者数等）について説明

委員からの質問

問：宿泊の料理の売上が昨年度と比較して伸び悩んでいるが、料理のプラン等が安くなっているのか。

答：素泊まりのプラン（一泊朝食）が多くなっている。

問：経営会議をやっていると思うが、どういう分析をしているのか。その資料（反省等）は公表しているのか。

答：定例会を毎月開催し、好調なものは継続し、不調なものはプランの見直しを行っている。運営委員会の議事録は公開しているが、定例会は公表していない。

問：集客するための方策は。

答：団体の解散や会員の減少により宴会の人数や回数が減っているため、以前の規模で実施していただくことは難しい状況になっている。近隣市町村の利用が多いので、特に池田町方面へのPRを考えている。過去のお越しいただいたお客様に再度連絡をとって、ご予約をいただいた例もある。やまなみ荘の料理は美味しいと評判であり、送迎を行うことは強みだと思っている。その点をPRしていきたい。

問：遠方から来て宿泊するよう、県外の営業に力を入れたらどうか。遠方の企業や保育園等に資料を持参したらどうかと思う。また、グランドやマレットゴルフ場、ゲートボール場等の教育委員会施設を活用して営業したらどうか。

答：営業先はご意見を参考に検討する。やまなみ荘でも、合宿プランを用意しており今年東京都の千代田学園のテニス部が合宿をした。コートがよく、空気がきれいで疲れ方がよいということで、大変喜んで帰られた。広報はホームページのみだったが、他からも問い合わせ等の反響があった。

問：松本山雅FCの関係で泊まったことはないのか。会場までは遠くないと思う。

答：チケットを見せると15%オフになるプランをホームページに出しているが、利用者はいない。今後PRを考えていきたい。

問：おやきのような田舎料理を楽しめるものがあれば、平日でも需要があると思

う。

答：農作物を作るところから始まり、製品にするまでを体験できるような年間を通じたプランを検討しており、新たな集客に結びつくのではないかと。生坂村のイメージにも結びつくので、是非形にしたい。

(2) その他

説明事項

レジオネラ菌検出経緯、対応状況を説明

委員からの質問

問：中止しているジャグジーの再開はするのか。

答：ジャグジーを使用するには、毎日完全排水して清掃しなくてはならないが、井戸水だけでは水量が足りないなので、廃止をする。